

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	研究ゼミナールB（Seminar of Study B）		
ナンバリングコード	P31702	大分類 / 難易度 科目分野	情報メディア学科 専門科目 / 応用レベル ゼミナール
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 年 / 後期
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	P170252	クラス名	星芝研究室
担当教員名	星芝 貴行		
履修上の注意、 履修条件	卒業研究に着手するために必要となる基礎知識・スキルを修得する科目です。卒業研究に着手する前に必ず受講してください。 グループでのコンテンツ制作中心の授業のため、欠席によってグループに迷惑をかけることのないようにしてください。		
教科書	なし		
参考文献及び指定図書	なし		
関連科目	ゼミナールA、卒業研究研究		

○基本情報		
授業の目的	研究室のテーマは、コンピュータミュージックにおける「資格(License)」と「制作(Creative)」と「研究(Research)」です。コンピュータミュージックの分野の制作や研究を行うにあたって必要となる基礎的能力を習得することを目指しています。コンピュータミュージック・デジタルサウンドでの、「知識習得」・「作品制作」・「研究開発」を目指し、人が奏でた音楽で人が感動するように、「コンピュータが奏でた音楽で人は感動できるか？」を主にテーマとしています。 研究ゼミナールでは、映像コンテンツ制作にも携わり、音楽(BGM)や音声(ナレーション)や効果音の付加から、映像処理と並行して行われる音楽音響処理について学びます。	
授業の概要	大分合同新聞社と連携して、ゲートチャンネル内の『地域の芽、学生が目 NBUビデオ通信』にて、月に一度の動画ニュースを作成し、配信を行います。音楽音響処理だけに留まらず、映像コンテンツ完成に至るまでの、様々な作業(企画、調査、取材、構成、撮影、編集)に取り組みます。併せて、担当者は大分合同新聞の夕刊にて記事の執筆も行います。企画は前もって案を出し合い協議をした後、大分合同新聞にプレゼンテーションを行って決定されます。作品時間は2分から3分程度とし、完成後はスタッフ全員で視聴し、質疑応答及び講評を行います。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	(3) アクティブ・ラーニング	「実習、フィールドワーク」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ : 地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	・積極的に課題の制作や実習に取り組むことができる。			30点
【知識・理解】	・日進月歩なコンピュータミュージックの新しい知識を理解できる。		20点	
【技能・表現・コミュニケーション】	・制作した作品についてPRができる。		20点	
【思考・判断・創造】	・これまでの知識を応用して作品を制作できる。		30点	
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)				
[Sレベル]到達目標を満たしている。 [Aレベル]到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]到達目標を一部満たしている。 欠席、遅刻を含めた受講態度を評価します。 課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。				

○その他

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名	研究ゼミナールB（Seminar of Study B）	授業コード	P170252
担当教員		星芝 貴行		
学修内容				
1. 作品企画				
動画ニュース・映像作品の企画を考えます。グループディスカッションにて企画を絞り込めます。				
予習	今までの動画ニュースについて調べる			約2時間
復習	ディスカッションした点を踏まえて追加調査を行う。			約2時間
2. 取材活動				
動画ニュース・映像作品について取材を行います。音楽(BGM)を付加するためにも、現地に足を運ぶ重要性を学びます。				
予習	アポ取りを行い、質問事項を考える			約2時間
復習	取材し内容について文字起こしを行う。			約2時間
3. 取材報告				
取材内容の読み込みと、撮影方針の決定し、ラフな構成案を思考します。付加する音楽(BGM)についても、概ねのイメージを思考します。				
予習	文字起こしの内容を読んで、使いどころに印をする。			約2時間
復習	議論した点を踏まえてテーマについて検討する。			約2時間
4. 撮影準備				
映像作品のテーマの確認をし、テスト撮影・録音を行います。				
予習	撮影スケジュールの制作。			約2時間
復習	撮影内容の確認と進行の段取り。			約2時間
5. 撮影				
動画ニュース・映像作品の撮影・録音を行います。付加する(BGM)について、作成し始めます。				
予習	撮影機材の点検。			約2時間
復習	収録済みカードの映像取り込み。			約2時間
6. 編集				
映像のラフなPC編集を行い、テーマの最終決定を行います。映像の長さ(尺)に合わせる必要があるため、編集に立ち会いながら、付加する(BGM)を調整します。				
予習	文字起こしを行う。			約2時間
復習	効果音と音楽の入れところについて検討する。			約2時間
7. 仕上げ				
PC編集にてテロップ入れを行い、音楽と効果音の付加も行います。作品を完成させ、作品に関してミーティングを行います。				
予習	音楽と効果音の準備を行う。			約2時間
復習	作品の総括をレポートにしてまとめる。			約2時間
8. リクルートビデオ作品の調査				
取材対象会社のセールスポイントを考察します。取材対象会社にゆかりのある曲等も調査します。				
予習	過去のリクルートビデオ作品について調べる。			約2時間
復習	取材対象の会社や業界について調べる。			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	研究ゼミナールB（Seminar of Study B） 星芝 貴行	授業コード	P170252
学修内容				
9. 取材活動 リクルートビデオ・映像作品について取材を行います。実際に現地に足を運び、付加する音楽(BGM)についてイメージを膨らまします。				
予習	アポ取りを行い、質問事項を考える。			約2時間
復習	取材し内容について文字起こしを行う。			約2時間
10. 取材報告 取材内容の読み込みと、撮影方針の決定し、ラフな構成案を思考します。付加する音楽(BGM)についても、概ねのイメージを思考します。				
予習	文字起こしの内容を読んで、使いどころに印をする。			約2時間
復習	議論した点を踏まえてテーマについて検討する。			約2時間
11. 構成案のプレゼンテーション 取材対象の会社にて、どのような映像と音楽を制作したいのかプレゼンテーションを行い、クライアントの意向を伺います。				
予習	構成案を作成する。			約2時間
復習	クライアントの意向を含めた修正構成案を作成する。			約2時間
12. 撮影1 構成案に即した撮影取材と録音を行う。				
予習	撮影・録音機材の点検。スケジュールの制作。			約2時間
復習	撮影内容の確認と進行の段取り。			約2時間
13. 撮影2 テーマに即した撮影取材と録音を行う。				
予習	撮影・録音機材の点検。スケジュールの制作。			約2時間
復習	収録済みカードの映像と音の取り込み。			約2時間
14. 編集 映像のラフなPC編集を行い、テーマの最終決定を行います。映像の長さ(尺)に合わせる必要があるため、編集に立ち会いながら、付加する(BGM)を調整します。映像作品の実制作を行います。作品内容に関して、教員とのミーティングを行います。				
予習	文字起こしを行う。			約2時間
復習	効果音と音楽の入れところについて検討する。			約2時間
15. 仕上げ PC編集にてテロップ入れを行い、音楽と効果音の付加も行います。作品を完成させ、作品に関して教員とミーティングを行います。				
予習	音楽と効果音の準備を行う。			約2時間
復習	カラコレ作業を行う。			約2時間
16. 作品の発表 制作した映像作品の鑑賞し、グループディスカッションを行います。教員からの講評を行います。				
予習	最終構成台本を制作する。			
復習	作品の総括をレポートにしてまとめる。			